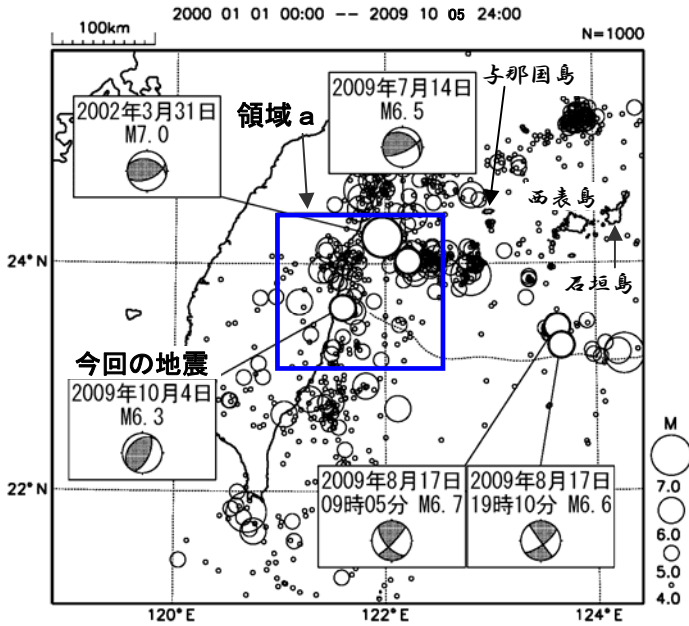


10月4日 台湾付近の地震

震央分布図
(2000年1月以降、 $M \geq 4.0$ 、深さ150km以浅)

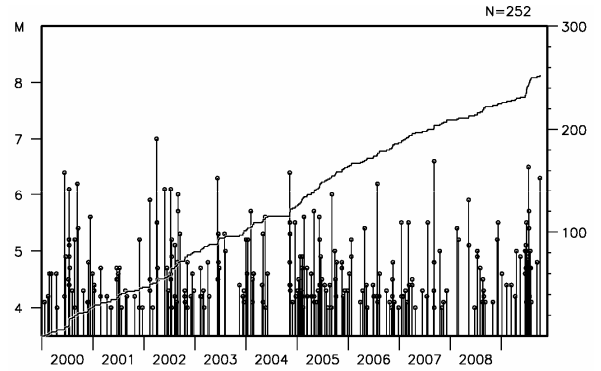


※発震機構はCMT解

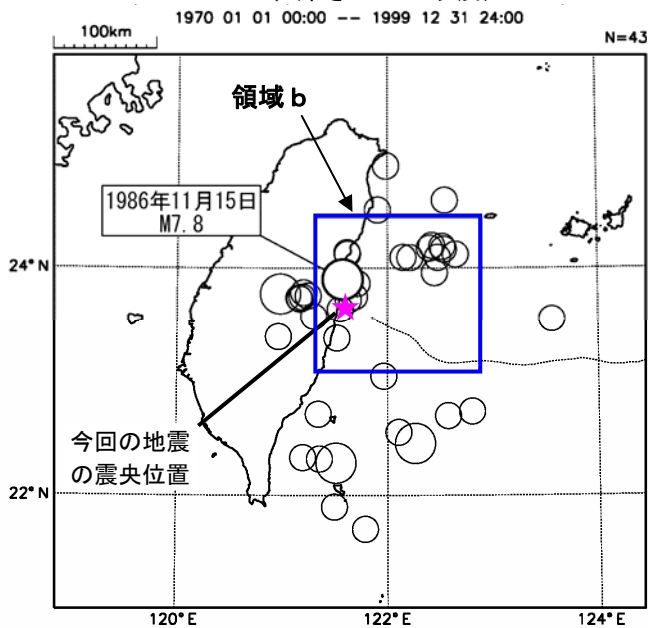
2009年10月4日02時36分に台湾付近でM6.3の地震(日本国内で最大震度2)が発生した。発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

2000年以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近は地震活動が活発なところで、M6.0を超える地震がたびたび発生しており、最近では2009年7月14日にM6.5の地震(国内で最大震度3)が発生した。

領域 a 内の地震活動経過図と回数積算図



震央分布図(震源はUSGSによる)
(1970年1月1日~1999年12月31日、 $M \geq 6.0$ 、深さ150km以浅)



1970年以降の活動を見ると、この付近では1986年11月15日にMs7.8(米国地質調査所によるマグニチュード)の地震が発生し、日本国内で最大震度3、宮古島平良で津波の最大の高さ30cmを観測した。また、現地では死者13名の被害を生じた(被害は宇津の「世界の被害地震の表」による)。

領域 b 内の地震活動経過図

